

[第 172 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2026 年 3 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2026 年 4 月 4 日 (土) 15時～17 時
 - 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
 - テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.258～
 - 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
 - 懇親会 17 時 45 分～ 場所 WEST LAKE HOTEL 可以登楼
(高島市安曇川町中央2丁目1-6) ☎0740-32-3131
- 参加費 5,000円★参加頂ける方は、3/28 までに田中までご連絡ください。

2026 年 3 月 14 日(土)、安曇川公民館で第 171 回藤樹人間学塾を開きました。今回は前週に「中江藤樹・心のセミナー」を行ったこともあり、4 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本の名著 11)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻九 義論の二 秀吉の人物、仮名書きと漢文、巻十 義論の三 武士の学問好きを輪読し、配布資料も説明。

■ 今日のポイント

- ・ 冒頭、フィギュア「りくりゅう」ペアのミラノ五輪での金メダルの話をしました。二人が7年前の不遇の時代に運命的な出会いをし、それから毎日毎日、数々の苦勞を乗り越えて獲得した金メダルは美しい。
- ・ 秀吉の人物…秀吉と玄宗の共通構造を学びました。両者はともに無能な暴君ではない。むしろ前半は傑出した統治者であった。しかし両者は太平の到来という転換点で、①緊張の消失、②抑制の消滅、③私への収縮が要因で志が失われ、秀吉は後継問題に執着し、玄宗は楊貴妃一族に傾斜し、次代が不安定になった。志を失わないためには、①自分を諫める存在を持つ、②未完成意識を保つ、③公への接続を絶やさないことが必要である。
- ・ 仮名書きと漢文…文をふみと読むのはふくむの意味。心を含めるのである。格法に陥って心法を知らぬ人が書いた書は見るに足りない。徳を知って実学であるなら、真実におもむく。心が先で書が後である。
- ・ 武士の学問好き…文道が好きで武芸が不得手か嫌いなら他の道を選ぶべき。あるいは、不得手であっても一所懸命に努力すれば道が開ける場合がある。

■ フリートーク

- ・ 「りくりゅう」ペアの信頼関係、大河ドラマ『豊臣兄弟！』の藤吉郎と小一郎の信頼関係をみて、今の難しい時代に信頼関係の大事さを再認識した」
- ・ 「秀吉は天下統一後、部下に渡す褒美が無くなり、朝鮮出兵に走ったが、家康は大名に領国を治めさせることで部下を統率した、という違いがある」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。参加費無料です！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

